

資料番号	27
------	----

令和7年5月21日
 課名 土木建築局港湾漁港整備課
 担当者 港湾計画担当監 井上
 内線 4024

尾道糸崎港港湾脱炭素化推進協議会（第1回）の開催結果について

1 要旨・目的

尾道糸崎港における港湾脱炭素化推進計画の策定に向けて、有識者、関係企業、関係団体、関係行政機関で構成する「尾道糸崎港港湾脱炭素化推進協議会」を3月26日に立ち上げ、第1回協議会を開催したので、その結果を報告する。

2 現状・背景

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、国際物流の結節点かつ産業拠点となる港湾において、

- ① 水素・燃料アンモニア等の大量・安定・安価な輸入や貯蔵等を可能とする受入環境の整備
 - ② 脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化
 - ③ 集積する臨海部産業との連携等を通じて温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルポート（以下、「CNP」という。）の形成
- を推進するため、令和5年度に広島港及び福山港において、「港湾脱炭素化推進協議会」を立ち上げ、CNPの形成に向けて取り組んでいる。

3 概要

(1) 実施主体

広島県

(2) 開催日時

令和7年3月26日（水）15：00～

(3) 場所

三原市総合保健福祉センター（サン・シープラザ）

※WEB併用

(4) 実施内容

ア 議事

- (ア) 尾道糸崎港港湾脱炭素化推進協議会規約について
- (イ) 港湾脱炭素化推進計画について
（計画概要、計画対象範囲等について説明）
- (ウ) 今後の予定について
- (エ) 意見交換

イ 構成員等からの主な意見

- (ア) 臨海部に立地している企業のみではなく、近辺でCO2排出量の多い企業が、今後カーボンニュートラルを達成するために、どのようにエネルギー転換を図っていくのか、その中で尾道糸崎港を利用する可能性があるのかについて、幅広く意見を聞きながら、尾道糸崎港の利用価値を高めていけるような計画を検討していただきたい。

(イ) 今後検討するに当たり、近隣の福山港と連携した広域的な議論を行えばメリットがあるのではないかと考えられるため、福山港の協議会で議論されている内容や進捗等も情報共有していただきたい。

ウ 構成員等

別紙のとおり

エ その他

(ア) 協議会の議事概要は、県ホームページにおいて公開する。
(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/103/cnp-keikaku.html>)

(イ) 開催状況



協議会の開催状況

4 今後のスケジュール（予定）

令和7年度：協議会開催、計画策定・公表

尾道系崎港港湾脱炭素化推進協議会 名簿

(順不同)

役割	区分	企業名等
構成員	有識者	国立大学法人広島大学
	関係企業	尾道造船株式会社
		三菱重工業株式会社三原製作所
		メキシケムジャパン株式会社
		株式会社ひろしま港湾管理センター
	関係団体	中国地方港運協会尾三支部
		公益社団法人広島県トラック協会
		広島県旅客船協会
	関係行政機関	国土交通省中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所
		広島県土木建築局
		三原市建設部
		尾道市産業部
		福山市建設局
オブザーバー	関係行政機関	経済産業省中国経済産業局
		国土交通省中国運輸局
		環境省中国四国地方環境事務所
		広島県環境県民局
		広島県商工労働局
		三原市生活環境部
		尾道市市民生活部
		福山市経済環境局